

議 長

続きまして、石川議員の一般質問を行います。2番石川議員。

2番
石川議員

お昼前になりましたが、皆さん、おはようございます。新人議員の石川でございます。よろしくお願い致します。私は、この4月行われました町議会議員選挙に於きまして「ひとりひとりが主役。町民の皆様お一人お一人が主役である。」と訴えさせていただきました。町民の皆様のお考え、町民の皆さんの声をしっかり町行政の方に反映させていただきまして、皆さんと共に頑張りたいと思っておりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。それでは通告書に従いまして2点質問をさせていただきます。

まず、第6次産業について、質問させていただきます。川本町の今後の進むべき道を考える時、主産業である農業の方向性を明確に示し、又、見直してみる必要があると考えます。

町長は、町長選を通じて「第6次産業化」を謳っておられました。私も全く同感でございます。しかしながら、作物選定も具体的にはまだ決まっていないのが現状であります。川本町が現在、力を注いでいる「エゴマ」も候補の1つであろうかと思いますが、早急に議論する場を立ち上げ、作物選定を先ず行ってほしいというふうに考えております。それを受けて、食品加工の第2次産業、流通・販売の第3次産業をどのように押し進めていくのかを平行して議論し、成案を得る必要があるかと考えます。全てにおいて規模の小さい川本町でも、1つに纏まれば、未来は開けていくものと信じております。町長のリーダーシップに期待をしておりますので、今後の展開の一端をお聞かせ頂きたいというふうに思います。

第2点目でございます。子育て支援について、でございます。定住対策につきましましては、川本町の最重要課題の1つとして取り組まれている訳ですが、今回はその中から「子育て支援」を取り上げさせていただきます。川本町では数年前より皆さんご存知のとおり「キープ4000」というキャッチフレーズのもと定住対策、取り分け「子育て支援」がいろいろと実施されていることは承知しておりますが、結果として他町に比べて若いお父さん、お母さんを応援する体制に甘さがあると考えます。1点目は「保育料」でございますが、平成24年度より川本町に住民票があつて、保育所に入所する第3子以降の児童に対し保育料の全額免除という制度が実施されます。これをもう一步進めて第2子以降を全額免除とし、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るべきと考えるが、町長のお考えをお聞かせ頂きたい。

2点目は、児童の医療費ですが、現在、川本町では小学校に入学するまでの児童に対しては無料になっております。しかしながら、子育て世帯の側からの声として、本当に医療費に対して不安になるのは小学校からという声を4月の町議会議員選挙期間中に何度となく聞くことができました。実際、中学校卒業まで医療費の無料化を実施している他町に転居した世帯があつたという事も聞きました。これでは定住対策としての施策としては、十分ではな

2番
石川議員 　　いと考えます。是非とも中学校卒業までの医療費の無料化をすべきと考えるが、町長のお考えをお聞かせ頂きたい。以上、2点でございます。よろしく
お願い致します。

議 長 　　それでは、石川議員の質問のうち1項目めの「第6次産業について」に対する答弁をお願い致します。番外三宅町長。

番外
三宅町長 　　それでは、石川議員の「第6次産業化に向けての取り組み」につきまして、お答え致します。やはり川本町にとりまして、地域内の産業振興をこれから図っていくという事は、これは重要な問題でありますし、これは大きな政策の柱となって参ります。今の時代は農業、商業、工業の垣根を越えて、一緒に地域振興を図っていく時代であります。農業者と商工業者の技術を連携して、地域資源を活用して素晴らしい川本町の特産品が開発されるという事を期待しております。川本町には隠れた宝物がたくさんございます。農・商・工連携して6次産業化を進め川本名物を作り出し、こうした商品と一緒に川本町を全国に売り出して行きたいというふうに考えております。特産品を通じて交流人口を動かす事によって経済が動き、情報が動くというのが私の考えであります。事業が軌道に乗れば、大きな経済効果が生み出され、雇用や所得の確保、地域の活性化に資するものだと考えております。「戦略は大胆に、戦術は細心に」という戦略方法がございますが、農・商・工の連携で、小さな一歩を踏み出し、新しい産業の芽を生み出していくと必ず次のアイデアが湧いて参ります。その一歩を踏み出すきっかけづくりをするところが行政であり、そのバックアップしなければならないというふうに考えております。第一歩として今出来ることは何だという事をしっかり考えてもらいたいと私は考えております。24年度はその第一歩としての農・商・工が1つのテーブルにつき検討する場を早く立ち上げたいというふうに考えております。又、先進地視察等もどんどん行っていきたくて考えております。尚、作物の選定でございますが、これから、ゼロから新たに作物を見つけて、育てるとするのはこれはなかなか大変であります。川本には宝がたくさんあると言いましたが、例えば、去年は柿が豊作でありましたが、収穫されない柿園がたくさんありました。理由として収穫する労働力が無いと。或いは規格が小さいという事でありました。先ずは、こうしたところから切り口にならないか考えております。既に収穫時期を迎えている成木となっている、そうしたもの。例えば「柚」等、こういうものから6次産業化を考えていきたいというふうに考えております。先ずは、6次産業化へ一歩を踏み出すきっかけ作りというものを、行政としてしっかりやっていきたいというふうに考えております。

議 長 　　ただいまの答弁に対しまして、再質問。2番石川議員。

2番
石川議員

先ず、6次産業を質問するにあたりまして、皆さん方に共通認識を持っていただくためにですね、少し説明をさせていただきます。農業、水産業の産業分類では農業は第1次産業というものにあたります。6次産業は農畜産物、水産物の生産だけでなく食品加工の第2次、流通販売の第3次にも農業者が主体的に且つ総合的に関わる事によって、加工賃や流通マージン、今まで第2次産業、第3次産業の事業者が得ていた付加価値を、農業者自身が得るという事になっております。少し前、2、3年前までは1と2と3をたして6という事を言うておりましたけれども、今は農業自体が衰退をしておりますので先ず1次と2次を掛け合わせるという事、それで2にして2×3で6次産業という事が俗語として使われております。以上、6次産業についての共通認識を持っていただいたという事で、森川課長にお聞きしますけれども、先ず最初に、こういう6次産業化を踏まえた郡内の取り組み、こういうものがあれば、ちょっとお聞かせいただきたいというふうに思います。

議 長

番外森川産業振興課長。

番外森川産
業振興課長

石川議員からのご質問でございます、邑智郡内の取り組みは、という事でございますが、邑智郡内、それぞれの町で特色のある、そういった取り組みを今、行っているところでございますが、それを更に連携をしようという事で、先般、5月30日に悠邑アグリビジネスネットワークという組織の設立会議がございました。これは島根県の新たな農林水産業・農山漁村活性化計画・第2期戦略プランの内の邑智郡のプロジェクトを推進していくために立ち上げられたものでございます。邑智郡内の「食」、その生産・加工・流通・体験・販売に係わる個人、経営体等がネットワークを形成しまして、これまで以上に連携・協働・情報交換することにより、郡内のアグリビジネスの発展、向上を推進する、いわゆる6次産業化の推進をするものでございます。このネットワークを通じて邑智郡内の6次産業を進めていこうというものでございますが、川本町からこのネットワークに6つの組織・企業が参画をしていただきました。このネットワークを通じて、更なる連携・協働・情報交換をしていただいて、新たな取り組みを期待しているところでございます。

議 長

はい、2番石川議員。

2番
石川議員

それを踏まえまして川本町では現時点では6次産業と言えば「エゴマ」が中心になるかというふうには思いますけども、平成23年度の作付面積、生産量、お幾らかお願いします。

議 長

番外森川産業振興課長。

番外森川産業振興課長 平成13年度の、失礼しました。平成23年度のエゴマの作付面積でございますが、全体で13haでございます。それで全体の収穫量につきましては、ここで全体の収穫量の数字を持っておりませんが、1反あたり50から60kgぐらいの生産量が有ったというふうに把握をしております。昨年、一昨年がですね、ちょっと天候も恵まれませんでした猛暑でございましたので、その時に1反あたり30kgぐらいでございましたので、それからしますと倍ぐらいになったかなというふうに考えております。

議長 はい、2番石川議員。

2番石川議員 先ほど町長の方からですね、隠れた産物がたくさん有るというふうにお伺いしましたけれども、焦点が呆けてもいけませんので、ちょっとエゴマで押し進めて参りたいと思いますけれども、農家の販売額と加工した製品の販売額ですね、これを幾らになるかお願い致します。

議長 番外森川産業振興課長。

番外森川産業振興課長 ご質問のありました農家の販売額と加工の販売額という事でございますが、農家それぞれの販売額が幾らかであったかというのは、大変申し訳ございません。今ここで数字を持っておりませんので、又、お伝え調べさせていただければと思うのですが、全体の加工の販売額としましては、私共が把握している中では3,500万の加工の販売額があったというふうに認識しております。

議長 はい、続いて質問ございますか。2番石川議員。

2番石川議員 第5次川本町総合計画の中で、この事も触れられておりますけれども3,500万ではやはり6次産業という名前を俗語を使うには余りにも少ないというふうに考えます。それで10年後に目標を掲げておられますけれども高知県に馬路村という所がございます、ご存知だと思いますけれども、柚だけで約30億。邑智郡の米の販売額が10億でございますので、その3倍という事をやっておられます。この辺どこの数字を元に1億という数字が10年後の目標が出てきたのか、ちょっとその辺、何かありましたらお願いしたいと思います。

議長 番外森川産業振興課長。

番外森川産業振興課長 5次総合計画の中での1億円という事でございますが、やはりエゴマを中心と致しまして他の企業さんと言いますか、農業加工されているところがございまして、そういったところも新たな加工品も作られております。そう

番外森川産業振興課長 ういった物も含めて1億という事でございますが、実際にはエゴマが中心になろうかなと。今の現状で言いますと加工品の出口販売先と言うのは、或る程度確保されております。作ればその分は十分買っていただけるような状況でございますので、まだまだ生産をしていけば加工して販売できると、そういったところから考えまして今1億というところで考えているところでございます。それぞれの農家の皆さんの所得からすると、それは本当に一人ひとりの農家が大きな所得は得られないかも知れませんが、皆さんが少しずつでも所得を得ていただいて、そういった小さな所得が集まって大きな金額になっていけばなというふうに考えているところでございます。

議 長 2番石川議員。

2番石川議員 私もその事は良く理解は出来ますけども、それをやるにあたって先ず最初に振興計画、今年はどうする、来年はどうするんだと、その振興計画というものがきちんと作られて然るべきだと思いますが、これは出来ていますか。

議 長 番外森川産業振興課長。

番外森川産業振興課長 エゴマにつきましては、今、私共としては一般の個人の方で10haまでを目指そうという事で、町の産地育成助成1a当たり3,000円を助成しながら、とにかく10haまで持って行こうという計画をしております。それが企業さんが5haの全体で15ha、そこまでは町としては持って行きたいというふうに考えているところでございます。そういった計画の中で1つには反当たりの収量を上げていく事も考えていかなければなりません。その為の実証法、県の普及部とかそういったものと連携を図りながら実証法、こういう物を使えばもう少し量が増えるよ、こういう栽培の仕方をすれば量が増えるよ、そういった事も合わせて研究をさせていただいているところでございます。そういったものを計画の中に取り入れ、実際に皆さんに今お示しするような振興計画というものをしっかりとした物は作ってはおりませんが、それぞれの分野においての計画というのを立ててやらせていただいております。

議 長 はい。

2番石川議員 まあ何をやるにしても振興計画というのは一番大元の大元でございますので、早急に検討していただきたいと思っております。それから先ほどの町長の答弁にもありましたように検討委員会、これを具体的に町長、いつ頃までにやっていたいただけますか。

議 長 番外三宅町長。

番外
三宅町長 先ずは、この検討委員会で全てがスタートになります。従いまして今、いつまでという事は言えませんが、早急にこの検討委員会を立ち上げたいというふうに考えております。

議 長 2番石川議員。

2番
石川議員 まあ私の感覚で半年以内というぐらいで考えておりますけれども、よろしいですか。

(「はい」の声あり)

はい、それとですね一番この重要となるところがですね、雇用の確保という事なんです。農業収入のこれを得るという事も大事ですけど。いわゆる2次産業、3次産業をやるにあたって、雇用が30人なり50人、もっと100人でもなれば良いんですけども、この雇用の確保という事が一番大事な事になると思います。これはこの計画にも書いてありますけれども、この具体的なお考えはありますか。

議 長 番外森川産業振興課長。

番外森川産
業振興課長 この雇用の確保、この6次産業を通じての雇用の確保でございますね。

(「はい」の声あり)

これにつきましては、やはり加工の部門の所ではですね、実際に今企業さんがエゴマを取り組んで実施をされておりますが、販路が広がっていくにつれて規模拡大をしたいという事で町の企業立地支援貸付事業を使いながら、規模拡大を昨年図られました。そういった中で2名の新規雇用がございました。そういったように販路拡大しながら、その中で新たな加工の雇用、或いは販売も必要となってきますので、そういったところでの雇用というの生まれてくると思います。ただですね、そういった企業ばかりでの6次産業というのでは本町の場合は、いかない場合がございます。小さな農家の人が出され、それでそれを加工して販売していく。それは町全体でやっていきたいというふうに思っています。その中で上手くいけば何とかその中に雇用、もしかしたら1次産業の中にも新規の雇用というの生まれるかも知れませんが、加工の中でも雇用が生まれるかも知れませんが、今後、合わせて検討させていただきたいと思っております。

議 長 石川議員、手を挙げてお願いを致します。はい、石川議員。

2番
石川議員 はい、それでは早急に検討委員会を立ち上げていただきまして、しっかりと議論の中で目標値が平成33年に1億円じゃなくてですね、せめて10億ぐらいまでのそういう夢のある計画を地に足を付けて、ひとつ練り上げていただきたいというふうに思います。それでは次に移らせていただきます。

議 長

1 項目めは終わってよろしいですね。

(「はい」の声あり)

はい、1 項目めの「第 6 次産業について」の質問を終わります。

々

続いて、2 項目めの「子育て支援について」に対する答弁をお願いを致します。番外木村健康福祉課長。

番外木村健康福祉課長

続きまして、「子育て支援について」のご質問にお答えを致します。

現在、町が実施しています子育て支援対策としましては、保育料の軽減、それから小学校入学前までの乳幼児医療費の全額無料化、母子、乳幼児検診、フッ素塗布、フッ素洗口等歯科検診、ヒブワクチン、小児肺炎球菌ワクチン、子宮頸がん予防ワクチン等の全額町負担、又、インフルエンザワクチンにつきましては、妊婦と高校生以下につきまして予防接種の無料化を実施をして、子育て世帯の軽減に努めているところでございます。

最初の質問にございましたように「保育料」についてですが、保育料の基準につきましては所得税額により決められた階層区分により保育料月額が定められているところでございます。しかし、当町におきましては、その階層区分をさらに細分化をしまして、保育料月額を低額設定し保護者の負担軽減を図ってきているところでございます。又、先ほどありましたように今年度から 18 歳以下で第 3 子以降の入所児童につきましては、保育料を全額無料としたところでございます。この結果、町が保護者等から納めていただく保育料につきましては、平成 24 年度当初予算でございますが、国の基準額に比べ約半額以下の 1,535 万円となっているところでございます。

保育料の本算定につきましては 7 月 1 日となっておりますが、質問にありますように第 2 子の無料化を実施しますと、さらに約 900 万円程度が減額されることになる見込みでございます。

次に、「医療費」についてであります。乳幼児等医療費の助成につきましては、これまで県の制度に基づいて実施をしてきておりました。平成 21 年度からは就学前までの個人負担額を全額無料にしたところでございます。平成 23 年度におきましては、194 人、延 2,210 件、423 万円の助成を行っているところでございます。

質問にありました中学卒業までの医療費の全額無料化についてでございますが、島根県内の状況をみますと、小学校就学までの医療費を全額無料にしている自治体は 12 自治体、63%でございます。小学校卒業までが 7 自治体で 36%、中学校卒業までが 6 自治体という事で 31%という状況にあります。中学校までの無料化につきましては、県内でもまだ 3 分の 1 程度が実施している状況にあるところでございます。

定住対策の一環としまして重要な対策であるという事は考えておりますが、今後、第 5 次総合計画や次世代育成計画、並びに財政状況等を踏まえながら検討していきたいと思っております。

議 長 　　ただいまの答弁に対しまして、再質問ございますか。2番石川議員。

2番
石川議員 　　平成24年度4月1日現在ですね、川本町の0才から6才の児童・園児は146人。7才から15才が211人であるというふうに聞いておりますけれども、今後も減少傾向が続くと考えられますが、その事を中心におきまして子育て支援について、再度お伺いを致します。平成24年度、第1子、2子、3子の予定人数をお聞きしたいと思います。

議 長 　　番外木村健康福祉課長。

番外木村健
康福祉課長 　　現在、保育所に入所されております対象人数でございますが、第1子が29人、第2子が44人、第3子が16人、第4子以降が3名という事で96名という事になっております。

議 長 　　はい、2番石川議員。

2番
石川議員 　　今後ですね子どもの、お子さんの数この推移はどうでございますでしょうか。

議 長 　　番外木村健康福祉課長。

番外木村健
康福祉課長 　　今後の推移でございますが、今、政策の方で行っています第5次総合計画の中で中山間地域研究所が出した物でございますが、平成32年ですね2020年には4才以下の子どもが63名、4才から9才までが67名という事に試算がなされております。今回の目標3,300人を目標という事になりますと、2020年には4才以下が115名、4才から9才までで112名という予測が立っております。

議 長 　　はい、2番石川議員。

2番
石川議員 　　115まで112名までにしないと3,300人は保たれないという事ですね。そういう理解ですね。相当、頑張らなければいけない数字というふうにだと思っておりますけれども、その上ですね予算的には今の推移の中で、どうなるのちょっとお伺いしたいと思います。

議 長 　　番外木村健康福祉課長。

番外木村健
康福祉課長 　　予算でございますが、先ほど言いましたように保育料につきましては、平成24年度の当初予算で1,890万程度の予算、この内に軽減を行いますので最終的にいただくのは1,535万6千円という金額を今出している

番外木村健康福祉課長 ころでございまして、第2子それと第3子以降の無料化を致しますと約1,300万程度の減額になるという事で見込みをしております。

議 長 はい、2番石川議員。

2番石川議員 私がお聞きしたのは、今後そういう児童の推移を見る時に予算上どうなるかという事を聞いたんです。

議 長 番外木村健康福祉課長。

番外木村健康福祉課長 今後の推移でございますが、1子・2子・3子というのが又ぜんぜん今後の体制で変わってくると思いますし、金額的にも所得税に応じた月額となりますので、そこら辺のところは未だ数字が出ておりません。

議 長 2番石川議員。

2番石川議員 第2子以降実施すると900万増になるというところでございますが、これは12億の基金のベースで考えると900万が0.75ぐらいですかね。32億の一般財源で考えますと0.35ぐらいですか、ちょっと定かではないですが、そのぐらいの金額と%だと思います。その0.75、0.35この%がですね、それをどういうふうに考えるかというところでございますが、町長さん、その辺は如何でございますでしょうか。非常に多い金額というふうに考えられますか。

議 長 番外三宅町長。

番外三宅町長 数字的にどうかというよりも、近隣の町村がこの分野、可成り県内でも先行して優遇措置を取っているというのが実態でございます。そういう中での川本をどう考えるかという事ではありますが、第5次総合計画、今課長も申し上げましたが町としては、この近隣の町村並みここの方へ財政が許される限り持っていきたいというのが基本的な考え方でございます。

議 長 2番石川議員。

2番石川議員 ありがとうございます。それでは次、2点目の医療費についてお伺いさせていただきます。中学校卒業まで無料化にすると先ず予算的には幾らぐらい掛かりますでしょうか。

議 長 番外木村健康福祉課長。

番外木村健康福祉課長 医療費でございますが、今、町で把握出来ておりますのは国民健康保険の医療費しか把握は出来ません。社会保険等につきましては、町の方には医療費は入ってこないという事でございますので、今、国保の方の子どもさんについて計算をしてみて、全体の数字を当て嵌めたという事でございますが、約、今、国保の対象になっておられる方、1年間でございますが、1人当たり平均3割負担額が15,000円程度になろうかという事で思っております。小学校・中学校の対象者の方が今211名おられますので、それに掛けますと約300万程度が町が負担する額になるという見込みになります。

議 長 2番石川議員。

2番石川議員 金額につきましては私もそのぐらいの金額だろうという事で思っておりますけれども、先ほど植田議員の質問にもございましたように、お金の出し方出場所についてはいろいろと町執行部の方でお考えになっていただきたいというふうに思います。それから医療費の無料化につきましては、中学校卒業まで6自治体、これが無料化にしているという事でございますが、この都市部と郡部の比率と言いますか内容につきましては、お伺いしたいと思います。

議 長 番外木村健康福祉課長。

番外木村健康福祉課長 中学校までの無料化につきましては、殆どが郡部でございまして、邑智郡内でも美郷町、邑南町、それから津和野町、吉賀町、それから西ノ島町というところでございます。

議 長 2番石川議員。

2番石川議員 という事はですね、やっぱり郡部の危機感の表れなんですね、これは。郡部はやはり人口は減少している、児童数も減ってきている。やはりそこでこういう施策をきちっと行って、やはり子育て支援がしたいというところでございますので、本町に於かれましてもしっかりとその事を胸に置いていただきまして、この中学校卒業までの医療費の無料化につきましても是非、早急に実施をしていただきたいというふうに思います。町長、お願い致します。

議 長 番外三宅町長。

番外三宅町長 先ほどの保育料等と同様でございまして、医療費につきましてもこの近隣町村が、近隣の邑南町、美郷町が可成り県内でも先行したところの取り組みとなっております。定住対策の一環として、この医療費につきましても財政が許せる範囲内で川本町もこの支援をしていきたいと、そういう対策をうっていきたいというふうに考えております。

議 長 2 番石川議員。

2 番 財政が許す限りという言葉は、町長さん使われましたけれども、一般財源
石川議員 3 2 億、それはしぼりの金額もごさいます。しかしそこをですね、先ず定住
対策、これに全神経を費やす、或る意味で全神経を費やす。そうした時には
必ずこの子育て支援、医療費の無料化、保育料の無料化、これを現実の問題
として実行していただきたいというふうに思います。よろしくお願ひ致しま
す。

議 長 番外三宅町長。

番外 今、石川議員からございましたように、この定住対策というのは川本町に
三宅町長 にとって本当に大きな課題でございます。この保育料、そして医療費、これに
つきましては第 5 次の中で前向きに検討し進めていくという事をお約束させ
ていただきます。

議 長 よろしいですか。
〔「はい」の声あり〕

々 それでは、これをもちまして、石川議員の一般質問を終了致します。

々 次の質問につきましては、午後の部にまわしたいと思います。
次、昼からは 1 時に会議を再開致します。よろしくお願ひ致します。
これで午前中の会議を終了致します。

(午後 0 時 0 4 分)